

令和7年度使用中学校用教科用図書

選定理由書

北諸県採択地区協議会

令和7年度使用中学校用教科用図書について

令和7年度使用の中学校用教科用図書については、令和6年5月31日付宮崎県教育委員会教育長発「令和6年度宮崎県教科用図書選定審議会答申及び令和7年度使用中学校用教科用図書研究資料について」により、次のように通知されている。

(1) 採択について

(本年度の採択)

- ア 小学校、義務教育学校（前期課程）用の教科用図書については、本年度採択替えを行わない年であることから、令和5年度に採択したものと同一の教科用図書を採択すること。
- イ 中学校、義務教育学校（後期課程）用の教科用図書については、以下の(2)から(4)の内容に留意して、全ての教科用図書について、令和5年度に採択したものと異なる教科用図書を採択することができること。

(2) 採択の基準について

(中学校、義務教育学校後期課程)

- ア 教育基本法、学校教育法に基づき公示された中学校学習指導要領に示されている各教科等の目標を十分達成できるものであり、生徒の発達の段階に応じた指導を行うために、系統的に編集されているものであること。
- イ 教材の内容等が充実しており、各教科等で身に付けさせたい資質・能力を育成するための指導の充実につながるものであること。
- ウ 指導者及び生徒にとって、使用上の利便性があり、生徒にとって分かりやすいものであること。
- エ 地域の願いや思い、生徒の実態等を考慮すること。

(3) 研究資料の作成について

(中学校、義務教育学校後期課程)

研究資料の作成については、以下の内容に留意すること。

- ア 研究資料は、種目ごとに作成すること。
- イ 種目は次の16種目とすること。
 - 国語、書写、社会（地理的分野）、社会（歴史的分野）、社会（公民的分野）、地図、
 - 数学、理科、音楽（一般）、音楽（器楽合奏）、美術、保健体育、技術・家庭（技術分野）、
 - 技術・家庭（家庭分野）、英語、道徳
- ウ 研究資料は、中学校用教科書目録に登録され、かつ見本本として送付された全ての教科用図書について作成すること。
- エ 教科用図書の調査研究を行うに当たっては、明確な観点を定めて行うこと。
- オ 調査研究の観点としては、教科等の目標の達成及び単元（題材）や教材の構成・配列等、内容や指導の充実、利便性の向上等の角度からこれを定めること。
- カ 調査研究の資料は、観点ごとに特徴を簡潔に記述し、採択に当たっての参考となるものであること。

(4) 採択の方式について

(中学校、義務教育学校後期課程)

ア 採択地区内の各市町村教育委員会は、採択地区協議会を必ず設けること。

イ 採択地区協議会には、教科用図書の研究のために「専門委員」を置くこと。

ウ 「専門委員」は、県教育委員会が作成した研究資料等を活用して、種目ごとに、採択の基準に基づき教科用図書の研究を行い、採択地区協議会に報告すること。

エ 採択地区協議会は、県教育委員会の作成した研究資料等を参考にするほか、採択地区協議会に置いた「専門委員」の研究報告をもとに、種目ごとに1種の教科用図書を選定すること。その際、各教科用図書の特徴を踏まえるとともに、各地域の願いや思い、生徒の実態等を考慮するなど、最終的な選定理由を明確にした選定にすること。

オ 採択地区内にある市町村教育委員会は、採択地区協議会において選定した教科用図書と同一の教科用図書を採択すること。

そこで、本地区では、北諸県採択地区協議会及び専門委員会を設け、以下のとおり県の示す「採択の基準」の中学校ア～ウに従うとともに、基準エについて本地区生徒の課題を踏まえた観点4の基準を設定した上で、47名の専門委員に中学校用教科用図書の研究を依頼し、採択地区協議会において、調査研究報告を精査し、令和7年度使用中学校用教科用図書の選定を行った。

本県の採択の観点

○採択の観点（中：道徳科）

観点1 道徳科の目標の達成及び教材の構成・配列等	1 学習指導要領に示された道徳科の目標を達成するために、構成・配列等について、どのような工夫が見られるか。(基準ア)
観点2 内容や指導の充実	2 主体的に自分との関わりで考えたり、多面的・多角的に考えたりできるように学習活動を展開するために、どのような工夫が見られるか。(基準イ)
観点3 利便性の向上	3 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに生徒にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。(基準ウ)

○採択の観点（中：全教科）

観点1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等	1 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、構成・配列等について、どのような工夫が見られるか。(基準ア)
観点2 内容や指導の充実	2 主体的・対話的で深い学びを通して、目指すべき資質・能力を確実に身に付けさせるために、どのような工夫が見られるか。(基準イ)
観点3 利便性の向上	3 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに生徒にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。(基準ウ)

地域の願いや思い、生徒の実態等からみた本地区の観点（基準エ）

観点4(案)	4本地区の生徒の実態や課題に対応し、生徒に身に付けさせたい資質・能力を育てるために、どのような工夫が見られるか。
---------------	--

1 令和6年度教科用図書北諸県採択地区協議会委員

No.	種別	職名等	氏名	役職等
1	協議会委員	都城市教育長	児玉 晴男	会長
2	協議会委員	三股町教育長	米丸 麻貴生	副会長
3	協議会委員	都城市教育委員（教育長職務代理者）	赤松 國吉	監事
4	協議会委員	三股町教育委員	長岡 江利子	監事
5	協議会委員	都城市PTA代表	吉永 健一	
6	協議会委員	三股町PTA代表	愛甲 敬二	

2 令和6年度教科用図書北諸県採択地区協議会 日程

No.	内容	期日	時間	備考
1	第1回採択協議会	6月4日（火）	15:00～17:00	
2	第1回専門委員会	6月7日（金）	9:00～16:30	専門委員47名（管内中学校教職員）
3	専門委員（個人研究）	6月8日～26日		個人研究
4	第2回専門委員会	6月27日（木）	9:00～16:30	専門委員47名（管内中学校教職員）
5	第3回専門委員会	6月28日（金） ※数学科のみ7月1日（月）	9:00～16:30	専門委員47名（管内中学校教職員）
6	第2回採択協議会	7月17日（水）	9:00～15:00	専門委員長の報告・教科用図書選定
7	各市町教育委員会	7月24日（水）	都城市 13:30～15:30 三股町 9:00～11:00	

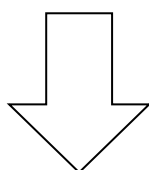
3 令和7年度使用教科用図書 北諸県採択地区協議会 選定結果 <中学校>

No.	種目	書名	発行者	現採用教科用図書
1	国語	国語 1、2、3	光村図書出版	同左
2	書写	中学書写 一・二・三年	光村図書出版	東京書籍
3	社会（地理）	中学社会 地理的分野	日本文教出版	東京書籍
4	社会（歴史）	中学社会 歴史的分野	日本文教出版	東京書籍
5	社会（公民）	中学社会 公民的分野	日本文教出版	東京書籍
6	地図	中学校社会科地図	帝国書院	同左
7	数学	未来へひろがる数学1、2、3	新興出版社啓林館	同左
8	理科	未来へひろがるサイエンス1、2、3	新興出版社啓林館	同左
9	音楽（一般）	中学音楽1、2・3上下 音楽のおくりもの	教育出版	同左
10	音楽（器楽）	中学器楽 音楽のおくりもの	教育出版	同左
11	美術	美術 1、2・3	開隆堂出版	光村図書出版
12	保健体育	新編 新しい保健体育	東京書籍	同左
13	技術	新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology	東京書籍	同左
14	家庭	新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して	東京書籍	同左
15	英語	NEW HORIZON English Course 1、2、3	東京書籍	同左
16	道徳	中学道徳 1、2、3 きみが いちばん ひかるとき	光村図書出版	同左

国 語

【 現 採 択 】

光村図書出版



【令和6年度選定】

光村図書出版

【送付見本本】

- 1 東京書籍
- 2 三省堂
- 3 教育出版
- 4 光村図書出版

【選定教科用図書の特徴】

- 1 単元の配列については、教材につながりをもたせ、資質・能力を活用して学びを深めたり、異なる領域で同じ話題を扱い、考えを深めたりする工夫が見られる。
- 2 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、教材の学習の流れが段階的に示された「学びへの扉」や学習のポイントがまとめられた「学びのカギ」が設けられ、生徒が見通しをもち、自らの学びを確認しながら学習に臨める工夫が見られる。
- 3 学習効果や使用上の利便性については、「ICT活用のヒント」において、各領域でのICTの活用場面や参考となる資料を示し、効果的にICTを活用することができる工夫が見られる。

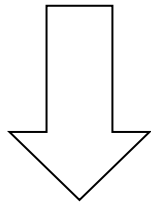
主 な 選 定 理 由

- 生徒が自分の思いや考えをまとめ、伝え合おうとする態度を育むために、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の領域の単元では、学習の流れを単元のはじめに示し、到達目標を明確にすることで生徒が思考の整理をしやすくするなどの工夫が見られる。
- 文章の種類を踏まえて、文章の構成や論理の展開を捉える力を養うために、「読むこと」の単元では、「学びへの扉」を教材の後に示し、振り返りを確実にを行い、読みを深めるなどの工夫が見られる。

書 写

【 現 採 択 】

東京書籍



【令和6年度選定】

光村図書出版

【送付見本本】

- 1 東京書籍
- 2 三省堂
- 3 教育出版
- 4 光村図書出版

【選定教科用図書の特徴】

- 1 単元の構成に関しては、「考えよう」「確かめよう」「生かそう」の3段階の学習過程となっており、「学びのカギ」において、学習のポイントを説明やイラスト等で視覚的に示し、学習内容を確認しながら学習できる工夫が見られる。
- 2 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、各毛筆教材の「考えよう」において自ら課題を発見させたり、「コラム」において文字に関する様々な問いについて話し合う活動を設定したりする工夫が見られる。
- 3 行書の特徴をアイコンで示したり、毛筆手本の半紙の右端に朱墨・薄墨で点画を示したりして、筆使いのポイントを理解しやすくする工夫が見られる。

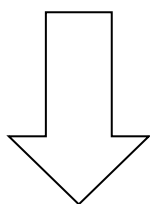
主 な 選 定 理 由

- 伝統的な文字文化への興味・関心をもたせるために、身近な文字を探したりユニバーサルデザイン書体の使用例を探したりする活動や、「書き初めマスターブック」での学習や漫画を通して手書きのよさを話し合う活動を取り入れるなど、文字文化への興味・関心が高まるような工夫が見られる。
- 実生活において手書き文字のよさを効果的に生かす力を養うために、各学年に国語の学習内容と関連した教材を設定した上で、第3学年の初めに「手書きのよさって、何だろう」と題して手書きの価値を改めて考える教材を設定したり、別冊「書写ブック」で知識・技能の要点を復習できるようにしたりして、手書き文字について学んだことを定着させながら実生活に生かしやすくするなどの工夫が見られる。

地 理

【 現 採 択 】

東京書籍



【令和6年度選定】

日本文教出版

【送付見本本】

- 1 東京書籍
- 2 教育出版
- 3 帝国書院
- 4 日本文教出版

【選定教科用図書の特徴】

- 1 章・節の構成は、学習のはじめに、問いの設定、本文、まとめとふり返りのページとなっており、学習の見通しと振り返りができるような工夫が見られる。
- 2 単元ごとに「自分の考えをまとめよう」が設定してあり、既習事項を整理し、地域の課題を思考・判断・表現することができるような工夫が見られる。
- 3 生徒にとっての分かりやすさについては、章や節ごとに単元を貫く問いについて独立したページを設けて、学習の見通しをもたせたり、ポートフォリオを活用することで思考の整理をさせやすくしたりする工夫が見られる。

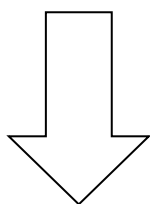
主 な 選 定 理 由

- 社会的事象や社会問題を自分事としてとらえ、主体的に学ぶ態度を育成するために、現代的な課題について、様々な視点から考察する「持続可能な地域をめざして」を設けたり、学びの理解を深める「地理+α」を設けたりする工夫が見られる。
- 複数の資料から必要な情報を読み取り、社会的事象間の因果関係を説明する力を身に付けさせるために、統計や地図、写真の活用等、地理的技能を系統立てて習得できるように解説した「スキルUP」を設けたり、読み取りの視点を示した「資料活用」を設けたりする工夫が見られる。

歴史

【現採択】

東京書籍



【令和6年度選定】

日本文教出版

【送付見本本】

- 1 東京書籍
- 2 教育出版
- 3 帝国書院
- 4 山川出版社
- 5 日本文教出版
- 6 自由社
- 7 令和書籍

【選定教科用図書の特徴】

- 1 章・節の構成は、学習のはじめにページ、本文ページ、まとめとふり返りのページとなっており、生徒が問いを立て、学習の見通しと振り返りができるような工夫が見られる。
- 2 各章末に「まとめとふり返し」を設け、時代の特色をまとめさせたり、考察する際に活用できる思考ツールを随所に設けたりするなどの工夫が見られる。
- 3 見開き最後の「確認・表現」で、1時間の学習を振り返ることができる。さらに、編末の「まとめとふり返し」では、習得した知識の確認のあと、各編・節の問いに答えることで、時代の特色を考えさせる工夫が見られる。

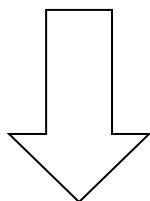
主な選定理由

- 様々な歴史的事象を通じて、主体的に学ぶ意欲を育成するために、節のはじめに問いの解決に向けたイントロダクションムービーが配置されており、単元の学習を見通すことができる工夫が見られる。
- 歴史的な事象間のつながりを理解させ、生徒の思考を深めるために、各編各章末の「まとめとふり返し」で時代の特色を追究する活動の中で、着目すべき歴史的な見方・考え方を身に付けられる工夫が見られる。

公 民

【 現 採 択 】

東京書籍



【令和6年度選定】

日本文教出版

【送付見本本】

- 1 東京書籍
- 2 教育出版
- 3 帝国書院
- 4 日本文教出版
- 5 自由社

【選定教科用図書の特徴】

- 1 章の構成は、導入ページ、本文ページ、問いを解決し学びをまとめ・振り返るページとなっており、「見方・考え方」を働かせて課題を追究する学習活動ができるような工夫が見られる。
- 2 「SDGsマーク」を用いて持続可能な開発目標との関連を図ったり、「明日に向かって」でより良い社会参画を促したりする工夫が見られる。
- 3 生徒にとっての分かりやすさについては、イラストなどを活用し、見通しをもって学習に取り組める単元構成になっており、新しい事例や生徒が身近に考えられる事例を取り上げる工夫が見られる。

主 な 選 定 理 由

- 現代社会の課題の解決に向けて、主体的に社会に関わろうとする態度を育むために、身近な場面から章の学習内容に関する問いを考える「学習のはじめに」を設けたり、身近な地域の課題を考え、社会参画を促す「明日に向かって」を設けたりするなどの工夫が見られる。
- 現代社会の課題について多面的・多角的に考え、自らの意見を基に議論する力を育むために、身近なテーマから具体的な問いや事例を提示し、協働的な学びを促す「アクティビティ」を設けたり、社会の課題を考察・構想する「チャレンジ公民」を設けたりするなど、対話的な活動につなげる工夫が見られる。

地 図

【 現 採 択 】

帝国書院

【送付見本本】

- 1 東京書籍
- 2 帝国書院

【令和6年度選定】

帝国書院

【選定教科用図書の特徴】

- 1 巻頭では凡例、地図記号や方位、巻末では地形図について解説されており、地図帳の基本的な見方や使い方が示されている。
- 2 世界の各州・日本の各地方の主題図をほぼ同縮尺で提示したり、日本の各地方のページに産業の特徴を捉える統計資料を配置したりするなどの工夫が見られる。
- 3 生徒にとっての分かりやすさについては、世界の各州に、自然環境や生活・文化・産業などをイラストで表記した鳥瞰図を掲載することで、関心を高めながら特色がより視覚的に読み取れるなどの工夫が見られる。

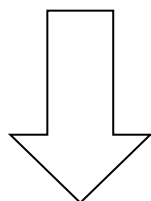
主 な 選 定 理 由

- 様々な地理的事象を通じて、地域的特色に興味・関心をもたせ、主体的に学ぶ意欲を育成するために、随所に「地図で発見！」が配置されており、地図上から必要な情報を読み取る力を身に付けることができる工夫が見られる。
- 多面的・多角的な資料を活用し、課題を解決する力を育成するために、SDGs等のさまざまな観点の主題図が配置されており、これからの時代を生き抜くために、持続可能な社会の実現に向けて考えを深めていくことができる工夫が見られる。

数 学

【 現 採 択 】

新興出版社啓林館



【令和6年度選定】

新興出版社啓林館

【送付見本本】

- 1 東京書籍
- 2 大日本図書
- 3 学校図書
- 4 教育出版
- 5 新興出版社啓林館
- 6 数研出版
- 7 日本文教出版

【選定教科用図書の特徴】

- 1 節の始めの「学習のとびら」では、数学を学ぶ意義と有用性を実感し、話し合い活動を通して解決の見通しをもつことができるようにするなどの構成・配列の工夫が見られる。
- 2 2つの標識「学びをひろげるときに役立つ考え方」「解決するときの考え方」を示すことで、大切な考え方を自然に体得させ、単元末では、分かったことなどをまとめる場面を設定するなど、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫が見られる。
- 3 単元内にある節の学習を進めれば解決できる身の回りの問題を、すべての節の先頭に「学習のとびら」として設定するとともに、場面理解や話し合い活動、試行錯誤する活動をサポートするコンテンツなどを用意し、学習内容の理解を促すような工夫が見られる。

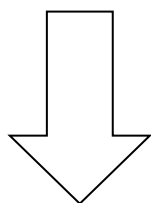
主 な 選 定 理 由

- 生徒が日常生活との関連に気付き、自ら粘り強く学習しようとする態度を育むために、章の導入や「数学ライブラリー」では数学が関係している身の回りの題材を挿入したり、側注に「同じように考える」や「範囲を広げる」などの標識を示すことで、問題を見出し、解決しようとしたりすることができるような工夫が見られる。
- 生徒が既習事項や分かっていることを整理し、見通しを立てて論理的に考えることができるように、巻末に「1年生のまとめ」を挿入したり、各章末の利用問題の側注に示された3つのステップの考え方で、数学的な問題発見・解決の過程を促したりする工夫が見られる。

理 科

【 現 採 択 】

新興出版社啓林館



【令和6年度選定】

新興出版社啓林館

【送付見本本】

- 1 東京書籍
- 2 大日本図書
- 3 学校図書
- 4 教育出版
- 5 新興出版社啓林館

【選定教科用図書の特徴】

- 1 単元の導入段階において、「学びの見通し」「学ぶ前にトライ！」を設け、様々な知識を活用して解決することのできる問いを設定し、課題意識をもって学習に取り組むことができるようにしている。また、同じ問いを、単元末に「学んだ後にリトライ！」として設け、科学的に探究できる構成・配列等の工夫が見られる。
- 2 各単元に1つ「探Q実験」を設定し、「探Qシート」により生徒の主体的な学習を支援している。また、「Action 活用してみよう」など、発表や活動の場面を設定することで学びを深めるような工夫が見られる。
- 3 二次元コードを設けたりICTをどの場面でどのように使うのかを明記したりしている。また、章ごとの「Review」「学習のまとめ」の中で、学びの過程の振り返りを意識できるような工夫が見られる。

主 な 選 定 理 由

- 学習した内容と日常生活を関連付けようとする態度を育成するために、見開き写真や日常生活とつながる写真・資料を多く掲載することで、生徒の興味・関心を高め、主体的に学習に取り組めるような工夫がされている。また、単元末の「ひろがる世界」では、学習内容を応用した身近な話題や最先端の科学技術を取り上げる工夫が見られる。
- 理科の見方・考え方を働かせ、科学的に探究する力を育成するために、「探Qシート」に「探究の過程」を書き込むことで、探究の流れをつかめるような工夫が見られる。また、仮説や計画などを生徒自身が考える実験では、吹き出しで探究の手がかりとなるヒントを示すことで、主体的な思考を補助するような工夫が見られる。

音楽（一般）

【現採択】

教育出版

【送付見本本】

- 1 教育出版
- 2 教育芸術社

【令和6年度選定】

教育出版

【選定教科用図書の特徴】

- 1 単元の構成については、歌唱、鑑賞、創作の分野が関連付けて構成されており、学習内容や教材が一目で分かるように「学習MAP」として示す工夫が見られる。
- 2 吹き出しによって、「思考力・判断力・表現力等」を促すための学習活動のポイントや学習内容に関連した項目を示す工夫が見られる。
- 3 資料について、歌唱では、「sing! sing!」のページで歌うための姿勢や発音などをチェックしながら確認できるように分かりやすいイラストで示す工夫がされている。鑑賞では、「Let's Try!」のページで楽曲に関する体験活動を通して、日本音楽の特徴や曲の仕組みについて理解を深めることができるよう工夫されている。

主な選定理由

- 生徒が主体的に学び、他者と協働しながら楽曲の良さに気付き、音楽を表現する態度を育むために、「Active!」のコーナーでは、生徒が主体的・協働的に学習を進め、学び合うための活動内容が示されている。
- 生徒が音楽を形作っている要素を基に、音楽の見方・考え方を働かせて、表現や鑑賞の学びを深めることができるようにするために、各ページの端に題材名が示されており、育成を目指す資質・能力が明確になっている。また、曲名の下にある活動のポイントや作曲家からのメッセージが掲載されており音楽的な見方・考え方のヒントとなるような工夫が見られる。

音楽（器楽）

【現採択】

教育出版

【送付見本本】

- 1 教育出版
- 2 教育芸術社

【令和6年度選定】

教育出版

【選定教科用図書の特徴】

- 1 器楽学習の充実のために、管楽器3種類、弦楽器3種類、打楽器1種類が取り扱われ、奏法ごとに配列されている。「深めてみよう」や「音のスケッチ」「発展」などで、器楽と創作、鑑賞を関連付けながら学習できるように示すなどの工夫が見られる。
- 2 生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図るために、「話し合おう」というコーナーが設けられ、楽器の特徴について自分の考えをまとめ意見が交流できるようになっており、対話を通して学びが深められるように工夫されている。
- 3 個別最適な学びを可能にするために、教材に関連した学習に役立つ動画や音源を二次元コードの読み取りで視聴できるように工夫されていたり、既習事項を振り返ることができるページを示したりといった工夫が見られる。

主な選定理由

- 生徒が主体的に学び、他者と協働しながら、音楽活動の楽しさに気づき、音楽を表現しようとする態度を育むために、リコーダーや和楽器の合奏曲において、身近で親しみやすい様々なジャンルの楽曲を多数収録するなどの工夫が見られる。
- 器楽表現に関わる知識や技能を生かして、器楽表現の学びを深めるために、曲名の下に演奏上のポイントを掲載している。また、段階的に奏法を習得できるように構成や配列が工夫されている。

美術

【現採択】

光村図書出版

【送付見本本】

- 1 開隆堂出版
- 2 光村図書出版
- 3 日本文教出版

【令和6年度選定】

開隆堂出版

【選定教科用図書の特徴】

- 1 学習の参考となるページや関連付けて学習できるページを示すとともに、二次元コードによる映像資料等を設定し、主体的に学習に取り組めるような構成・配列の工夫が見られる。
- 2 各巻末の「学びの資料」に横断的に活用できる知識・技能が系統的に整理して示され、生きて働く「知識及び技能」を習得できるような工夫が見られる。
- 3 各題材ページでは、題材のねらいや内容が直接的で伝わりやすい表現になっており、それぞれの活動でどのような資質や能力を身に付けられるかが、「知識・技能」「発想・構想」「鑑賞」の小見出しで示されている。

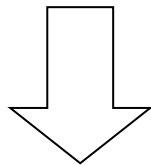
主な選定理由

- 生徒が、多くの技法を身に付け、自らの意図に応じて創造的に表現する楽しさを味わうことができるようにするために、題材ごとに、生徒作品を多数掲載するとともに、作者のことばやキャラクターのワンポイントアドバイスを掲載することで、様々な表現技法等を広く選択できるような工夫が見られる。
- 生徒が、鑑賞活動を通して、身の回りの美的事象に関心や興味を深めることができるようにするために、「学びの資料」では、美術館内の基本的なレイアウトや鑑賞のポイントやマナー等を、図やイラストを用いて分かりやすく紹介し、美術鑑賞への興味・関心を高められるような工夫が見られる。

保健体育

【現採択】

東京書籍



【令和6年度選定】

東京書籍

【送付見本本】

- 1 東京書籍
- 2 大日本図書
- 3 大修館書店
- 4 G a k k e n

【選定教科用図書の特徴】

- 1 単元の配列に関しては、1単位時間の流れとして「見つける」「学習課題」「課題の解決」「広げる」の4段階での学習過程とされており、生徒が見通しをもって学習を進められ、さらに「巻末スキルブック」を設け、実生活で活用できるような工夫が見られる。
- 2 小單元ごとに「活用する」「広げる」を設定し、学習を通して習得した知識・技能を活用し、再考するなどの実践力を育む工夫が見られる。
- 3 1単位時間の内容を見開き2ページに収め、各ページ左側本文、右側資料となっており、本文の内容に関する資料をすぐに確認できるなど、視線に配慮し、知識を確認するための資料の活用がしやすい工夫が見られる。

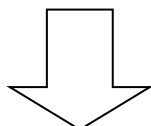
主 な 選 定 理 由

- 生徒が運動や健康について自他の課題を発見し、合理的な課題の解決に向けて取り組む態度を育むために、「見つける」「学習課題」「活用する」の構成がなされ、日常生活の経験や既習事項から自他の課題を発見できるような工夫が見られる。
- 生涯にわたる心身の健康の保持増進に向けて、知識や技能を活用する学習活動を充実させるために、1単位時間の構成として「広げる」が設定されている。また、二次元コードによる動画視聴等や「学習のまとめ」において、実践する力の育成につながるような工夫が見られる。

技 術

【 現 採 択 】

東京書籍



【令和6年度選定】

東京書籍

【送付見本本】

- 1 東京書籍
- 2 教育図書
- 3 開隆堂出版

【選定教科用図書の特徴】

- 1 内容ごとに「生活や社会を支える技術」「技術による問題の解決」「社会の発展と技術」の一連の流れの中で学習を進めることができるようにし、さらに技術の見方・考え方をマンガと連動した「最適化の窓」で気付かせるなどの工夫が見られる。
- 2 最初に5段階の問題解決学習の流れを詳しく説明し、製作の例を3つ提示してある。また、「technology」のワークシートのページで協働学習をしやすくする工夫が見られる。
- 3 必要な技能をまとめた「TECH Lab」コーナーで写真や図版を用いたり、二次元コードから作業動画などのデジタルコンテンツを活用できるようにしたりするなどの工夫が見られる。

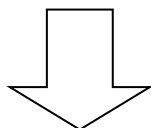
主 な 選 定 理 由

- 学んだ知識や技能を身の回りの生活に生かそうとする態度を養うために、編末に各分野におけるこれからの技術を設定し、学んだ知識・技能の光と影を想起させたり、新しい技術開発を知ったりすることで、持続可能な社会の実現について考えさせるような工夫が見られる。
- 生徒が課題を自ら設定したり、協働的な学びを通して解決策を構想したりできるようにするために、「問題の発見と課題の設定」では、思考ツールによる問題解決の構造化や、ニーズやシーズで「問題解決例」を示し、自分で学習を進められるような工夫が見られる。

家庭

【現採択】

東京書籍



【令和6年度選定】

東京書籍

【送付見本本】

- 1 東京書籍
- 2 教育図書
- 3 開隆堂出版

【選定教科用図書の特徴】

- 1 「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせることの必要性について、「家庭分野のガイダンス」で具体例を示して確実に意識できるようにしたり、各編の導入の見開きページでも再確認したりして、よりよい生活の実現に向けて、生活を創造しようとする力を育むことができるような工夫が見られる。
- 2 「学習のまとめ」では、知識及び技能の振り返りの内容が多く、「いつも確かめよう」には基礎的な技能をまとめ、家庭でも実践しやすい難易度の低い実習例を取り上げるなど、デジタル補助教材とあわせて繰り返し知識及び技能の定着を図ることができるよう工夫されている。
- 3 動画やシミュレーション、ワークシートなど教科書と連動して利用できる二次元コードコンテンツはWebページから無料配信され、授業だけでなく家庭でも活用できるようになっており、学習を主体的に進められるよう工夫されている。

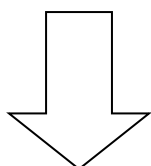
主な選定理由

- 生徒が身の回りの生活の中から課題を見出し、自分事として解決しようとする態度を養うために、単元の冒頭に生徒が課題を設定する欄や小單元ごとに課題へ向かう「レッツスタート」や、学びを実生活につなげる「生活に生かそう」が設定され、生徒が主体的に課題に気付き、解決しようとする工夫が見られる。
- 身の回りの生活の課題に対する解決策を構想する力を養うために、二次元コードによる充実した思考ツールや、対話的な学びを実現する「考えてみよう」などで、他者からの意見等を踏まえながら、解決方法を検討できるような工夫が見られる。

英 語

【 現 採 択 】

東京書籍



【令和6年度選定】

東京書籍

【送付見本本】

- 1 東京書籍
- 2 開隆堂出版
- 3 三省堂
- 4 教育出版
- 5 光村図書出版
- 6 新興出版社啓林館

【選定教科用図書の特徴】

- 1 「扉」では、単元を貫く問いを通して題材への興味を高め、「Unit Activity」では、各パートの「Activity」で用いた表現を生かして、目的・場面・状況を意識した言語活動に取り組む工夫が見られる。
- 2 「Unit」の活動目標が明確に示してあり、学習する前に「Preview」を聞くことで、目的・場面・状況を想起しやすくしている。「Read and Think」ではまとまった文を読み、自分の考えを表現することができる工夫が見られる。
- 3 学習者用デジタル教科書については、表示されたページ画面に触れるだけで内容ごとに拡大表示されるとともに、「書き込み」画面を開くと、「リンクの追加」ができる機能が備えられ、個別学習に必要なデジタル資料を収集できるなどの学習者に配慮した工夫が見られる。

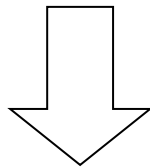
主 な 選 定 理 由

- 生徒が文・文構造及び文法事項を理解し、活用につなげることができるようにするために、本文の内容に関連した「Practice」で文構造を理解し、「Activity」において自己表現活動につながる構成になっており、段階的に言語材料を身に付けられるような工夫が見られる。
- 目的・場面・状況に応じて、適切な表現を用いて自分の考えを英語で表現したり、伝え合ったりできる力を身に付けさせるために、目的・場面・状況が明確に示された「Unit Activity」や「Stage Activity」が設定され、ペアやグループで言語活動を行えるような工夫が見られる。

道 徳

【 現 採 択 】

光村図書出版



【令和6年度選定】

光村図書出版

【送付見本本】

- 1 東京書籍
- 2 教育出版
- 3 光村図書出版
- 4 日本文教出版
- 5 G a k k e n
- 6 あかつき教育図書
- 7 日本教科書

【選定教科用図書の特徴】

- 1 9つのテーマでゆるやかに全教材をユニット化し、異なる内容項目からテーマにアプローチすることで、道徳的価値について考えを深め、多様な学びができるような構成・配列の工夫が見られる。
- 2 多面的・多角的な考え方ができるように、「見方を変えて」では「考えよう」の発問とは切り口を変えた問いや呼びかけ、「つなげよう」では更に深めさせたいテーマを提示するような工夫が見られる。
- 3 巻頭に「道徳の学習を始めよう」を設け、3つのポイントを示し、道徳科を学ぶ心構えを意識することができるような工夫がなされている。また、最終教材「一年間の学びを振り返ろう」では、これまでの学びを振り返り、心の成長に気付くとともに、これからの生き方について考えることができるような工夫が見られる。

主 な 選 定 理 由

- 生徒が多様な他者とのつながりを意識しながら、自分自身のよりよい生き方を追求する態度を育てるために、一つの教材から考えたことを更に深めていけるよう、「まなびをプラス」では、関連のある複数の問いを設定することで、その問いを基に、生徒が主体的・対話的に他者の中で考えを深めていけるような工夫が見られる。
- 伝統と文化を尊重し、それらを育ててきた郷土を愛し、進んで地域の発展に貢献しようとする実践意欲と態度を身に付けさせるために、生徒の発達の段階に即した中学生視点の教材を用いて地域を振り返るとともに、「つなげよう」で関連する教材を示し、発展的に考えを深めるような工夫が見られる。